

平成 31 (2019) 年神奈川県
国家戦略特別区域限定保育士試験問題


保 育 実 習 理 論

(選択式 20 問)

指示があるまで開かないこと

解答用紙記入上の注意事項

- 1 解答用紙と受験票の受験番号が同じであるか、カナ氏名・科目名を確認し、誤りがある場合は手を挙げて監督員に申し出ること。
- 2 漢字氏名を必ず記入すること。
- 3 解答用紙は、折り曲げたりメモやチェック等の書き込みをしないこと。
- 4 鉛筆またはシャープペンシル (HB～B) で、濃くはっきりとマークすること。
正しく記入・マークされていない場合は、採点できないことがあります。

(良い例) …  (濃くマークすること。はみだしは厳禁。)

(悪い例) …       

- 5 各問に対し、2つ以上マークした場合は不正解とする。
- 6 訂正する場合は、「消しゴム」であとが残らないように消すこと。

問1 次の曲の伴奏部分として、A～Dにあてはまるものの正しい組み合わせを一つ選びなさい。

著作権の関係により公表できません。

(組み合わせ)

| | A | B | C | D |
|---|---|---|---|---|
| 1 | ア | ウ | エ | イ |
| 2 | ア | エ | イ | ウ |
| 3 | ウ | イ | ア | オ |
| 4 | ウ | オ | ア | イ |
| 5 | オ | ア | エ | ウ |

問2 次のA～Dの音楽用語の意味又は読み方をア～ウから選んだ場合の正しい組み合わせを一つ選びなさい。

A Presto

ア 堂々と

イ 穏やかに

ウ 急速に

B m. s.

ア 左手で

イ  に戻る

ウ その音を強く

C 

ア タイ

イ グリッサンド

ウ スラー

D rall.

ア だんだん強く

イ だんだんゆるやかに

ウ だんだん静かに

(組み合わせ)

A B C D

1 ア ア ウ イ

2 ア イ ア イ

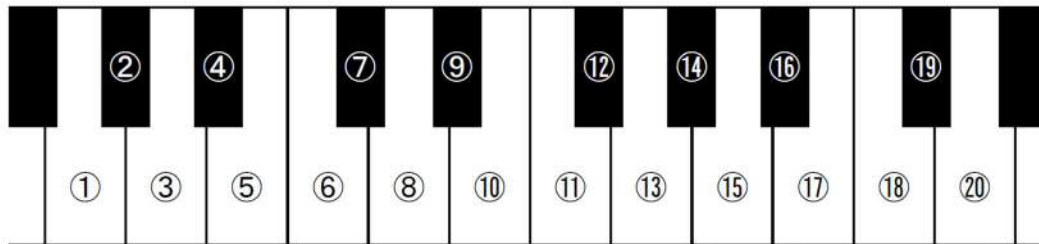
3 イ ア ウ ア

4 ウ ア ウ イ

5 ウ ウ イ ウ

問3 次のコードネームにあてはまる鍵盤の位置として正しい組み合わせを一つ選びなさい。

| | ア | イ | ウ |
|-------|-------|-----|-----|
| F # | : ③⑦⑫ | ④⑦⑫ | ⑥⑫⑮ |
| D ♭ | : ⑪⑭⑲ | ③⑦⑪ | ⑦⑪⑯ |
| E dim | : ⑤⑩⑬ | ①④⑩ | ①⑥⑩ |
| G m7 | : ①⑤⑪ | ④⑨⑬ | ⑪⑬⑯ |

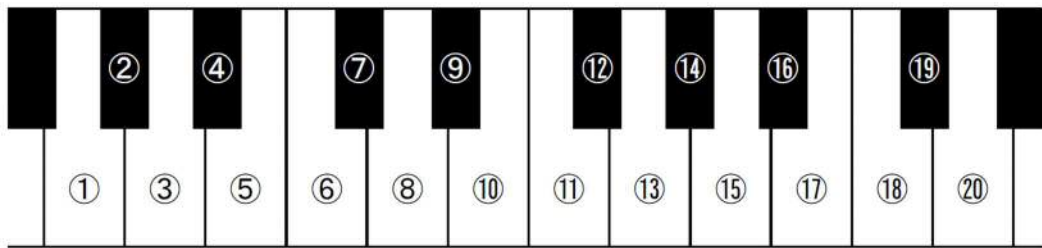


(組み合わせ)

| | F # | D ♭ | E dim | G m7 |
|---|-----|-----|-------|------|
| 1 | ア | ア | イ | ウ |
| 2 | ア | ウ | ア | イ |
| 3 | イ | ア | ア | イ |
| 4 | イ | ア | イ | ウ |
| 5 | ウ | イ | ウ | ア |

問4 次の曲を4歳児クラスで歌ってみたところ、高い音が歌いにくそうであった。そこで短3度下の調に移調することにした。その場合、A、B、Cの音は鍵盤の①から⑳のどこを弾くか、正しい組み合わせを一つ選びなさい。

著作権の関係により公表できません。



(組み合わせ)

- | | A | B | C |
|---|---|---|---|
| 1 | ③ | ⑥ | ① |
| 2 | ③ | ⑩ | ⑬ |
| 3 | ⑫ | ⑮ | ⑧ |
| 4 | ⑫ | ⑲ | ⑩ |
| 5 | ⑬ | ⑳ | ⑪ |

問5 次のリズムは、ある曲の歌いはじめの部分である。それは次のうちどれか、一つ選びなさい。

著作権の関係により公表できません。

- 1 「どんぐりころころ」(作詞：青木存義 作曲：梁田貞)
- 2 「大きなくりの木の下で」(作詞：不明 イギリス民謡)
- 3 「夕やけこやけ」(作詞：中村雨紅 作曲：草川信)
- 4 「おもちゃのチャチャチャ」(作詞：野坂昭如 補作：吉岡治 作曲：越部信義)
- 5 「やぎさんゆうびん」(作詞：まど・みちお 作曲：團伊玖磨)

問6 次の文のうち、適切な記述を○、不適切な記述を×とした場合の正しい組み合わせを一つ選びなさい。

- A 「きらきら星」はフランス民謡と言われている。
- B ト長調の属調はイ長調である。
- C 8分の9拍子は複合拍子である。
- D イ長調の階名「ミ」は、音名「ハ」である。

(組み合わせ)

- | | A | B | C | D |
|---|---|---|---|---|
| 1 | ○ | ○ | × | × |
| 2 | ○ | × | ○ | × |
| 3 | ○ | × | × | ○ |
| 4 | × | ○ | ○ | ○ |
| 5 | × | × | ○ | × |

問7 次の文は、「保育所保育指針」第2章「保育の内容」の2「1歳以上3歳未満児の保育に関わるねらい及び内容」(2)「ねらい及び内容」のオ「表現」の(イ)「内容」の一部である。(A)～(D)にあてはまる語句の正しい組み合わせを一つ選びなさい。

オ 表現

(中略)

(イ) 内容

- ① 水、砂、土、紙、粘土など様々な素材に触れて (A)。
- ② (中略)
- ③ 生活の中で様々な音、形、色、(B)、動き、味、香りなどに気付いたり、感じたりして楽しむ。
- ④ (中略)
- ⑤ (中略)
- ⑥ 生活や遊びの中で、(C)や経験したことなどを (D) 表現する。

(組み合わせ)

| | A | B | C | D |
|---|------|------|---------|-------|
| 1 | 表現する | イメージ | 感じたこと | 自由に |
| 2 | 楽しむ | 光 | 興味のあること | のびのびと |
| 3 | 表現する | 風 | 感じたこと | 自分なりに |
| 4 | 楽しむ | 手触り | 興味のあること | 自分なりに |
| 5 | 遊ぶ | 風 | 見たこと | 自由に |

問8 次の【Ⅰ群】の子どもの描画表現の特徴についての記述と【Ⅱ群】の語句を結びつけた場合の正しい組み合わせを一つ選びなさい。

【Ⅰ群】

- A 興味関心のあるものを大きく描いたり、数多く描いたりする。
- B 子どもたちの初期の描画は、何かを表現するというよりは、手の動きの痕跡や遊びとして始まる。
- C 太陽や雲などの非生物にも命があるかのように、目や口を描いたりする。
- D 人間を表すために、目や口らしきものが描かれた丸い形から、足や手を連想させる線が生えている。
- E 画面の下方に地面を象徴するような1本の線が現れ、家や木や人等がそこから立ち上がるように描かれている。

【Ⅱ群】

- ア スクリブル
- イ 頭足人
- ウ 基底線
- エ アニミズム表現
- オ 誇張表現

(組み合わせ)

- | | A | B | C | D | E |
|---|---|---|---|---|---|
| 1 | ア | ウ | オ | エ | イ |
| 2 | ア | オ | エ | イ | ウ |
| 3 | イ | エ | ア | ウ | オ |
| 4 | オ | ア | エ | イ | ウ |
| 5 | オ | エ | ウ | ア | イ |

問9 次の文は、幼児の版画遊びについての記述である。(A)～(D)にあてはまる語句を【語群】から選択した場合の正しい組み合わせを一つ選びなさい。

幼児の版画遊びは、生活の遊びの中で行われることが多い。例えば、野菜の断面、プラスチックのフタなどに色をつけて型押しをする(A)では、同じ形を何回も表現することができ、手にした物の形からは想像できないイメージを楽しむことができる。また、紙を二つ折りにして、開いた一方に自由に色をつけて再び紙を閉じて手で強く擦ってから開く(B)では、(C)に偶然生まれた不思議な色や模様を楽しむことができる。葉っぱやコイン、凹凸のある壁などに薄紙をのせ、色鉛筆やクレヨンなどで擦り出して描く(D)も、普段生活している教室や園庭を探検して様々な凹凸を発見する楽しい描画体験になる。

【語群】

| | | | | | |
|---|--------|---|---------|---|---------|
| ア | ドリップング | イ | フロッタージュ | ウ | スタンプング |
| エ | 吹き流し | オ | 不規則な形 | カ | デカルコマニー |
| キ | 左右対称な形 | ク | ステンシル | | |

(組み合わせ)

- | | A | B | C | D |
|---|---|---|---|---|
| 1 | ア | カ | オ | エ |
| 2 | ウ | エ | キ | イ |
| 3 | ウ | カ | キ | イ |
| 4 | カ | ク | オ | エ |
| 5 | ク | カ | オ | イ |

問 10 次の文は、「保育所保育指針」第 2 章「保育の内容」の 3 「3 歳以上児の保育に関するねらい及び内容」(2)「ねらい及び内容」のオ「表現」の(ウ)「内容の取扱い」の一部である。(A)～(D)にあてはまる語句を【語群】から選択した場合の正しい組み合わせを一つ選びなさい。

子どもの自己表現は(A)な形で行われることが多いので、保育士等はそのような表現を(B)し、子ども自身の(C)とする意欲を受け止めて、子どもが(D)の中で子どもらしい様々な表現を楽しむことができるようにすること。

【語群】

| | | | |
|---------|------|----------|---------|
| ア 大胆 | イ 精巧 | ウ 素朴 | エ 評価 |
| オ 受容 | カ 促進 | キ 完成させよう | ク 表現しよう |
| ケ 探求しよう | コ 学習 | サ 生活 | シ 活動 |

(組み合わせ)

- | | A | B | C | D |
|---|---|---|---|---|
| 1 | ア | エ | ケ | コ |
| 2 | ア | オ | ク | サ |
| 3 | イ | エ | キ | シ |
| 4 | ウ | オ | ク | サ |
| 5 | ウ | カ | ケ | シ |

問 11 次の文は、表現の生成過程を記録し保育に活かす方法に関する記述である。(A)
～ (D) にあてはまる語句を【語群】から選択した場合の正しい組み合わせを一つ
選びなさい。

(A) とは、イタリアの (B) 市の幼児学校が学びの可視化をするのに用いた
方法で、近年では日本の保育でも注目が集まっている。日本でも子どもたちの日常の表現
への関わりや保育実践を可視化した展示の他に、参加型の (C) を展覧会として開く
試みも始まっている。

また、ニュージーランドでは学びの物語として (D) を作成している。(D) は
子ども一人一人の学びの履歴を積み重ね、保育所と家庭をつなぐコミュニケーション支援
ツールにもなっている。

【語群】

| | | | | | |
|---|------------|---|---------|---|--------------|
| ア | ドキュメンテーション | イ | ワークショップ | ウ | モチベーション |
| エ | レッジョ・エミリア | オ | フィレンツェ | カ | ブルーノ・ムナーリ |
| キ | ポートフォリオ | ク | F.チゼック | ケ | フィンガーペインティング |

(組み合わせ)

- | | | | | |
|---|---|---|---|---|
| | A | B | C | D |
| 1 | ア | エ | イ | キ |
| 2 | ア | オ | カ | キ |
| 3 | ウ | カ | キ | ア |
| 4 | キ | エ | ケ | ア |
| 5 | キ | ク | ア | ケ |

問 12 次の【Ⅰ群】の素材と【Ⅱ群】の遊びや造形活動を結びつけた場合の正しい組み合わせを一つ選びなさい。

【Ⅰ群】

- A 食品トレイ
- B 紙パック（牛乳パックなど）
- C 新聞紙
- D 紙皿

【Ⅱ群】

- ア 丸い形を活かして、真ん中をくり抜いたリース作りやフォトフレーム、うちわ、フリスビー、お面などが製作できる。
- イ 箱形を活かして、中に入ったり、家や車に見立てたりして遊ぶことができる。
- ウ 発泡スチロールでできているので、刃物での切断が容易で、皿として使ったり浮かべて遊んだりできる。
- エ ちぎったり破ったり、巻いたり丸めたりと、容易に扱える身近な紙素材である。
- オ 紙製であるがビニールコーティングされているので水に強く丈夫であり、彩色には油性マーカーやアクリル絵の具が適している。

(組み合わせ)

- | | A | B | C | D |
|---|---|---|---|---|
| 1 | ア | イ | ウ | オ |
| 2 | ア | ウ | イ | エ |
| 3 | イ | ア | オ | ウ |
| 4 | ウ | オ | イ | エ |
| 5 | ウ | オ | エ | ア |

問 13 次の文のうち、適切な記述を○、不適切な記述を×とした場合の正しい組み合わせを一つ選びなさい。

- A 『ごんぎつね』は、中川李枝子の童話絵本である。
- B 『三びきのやぎのがらがらどん』は、スイスの昔話絵本である。
- C 『100万回生きたねこ』は、佐野洋子の創作物語絵本である。

(組み合わせ)

- | | A | B | C |
|---|---|---|---|
| 1 | ○ | ○ | ○ |
| 2 | ○ | ○ | × |
| 3 | ○ | × | × |
| 4 | × | ○ | ○ |
| 5 | × | × | ○ |

問 14 次の文のうち、「保育所保育指針」第2章「保育の内容」の2「1歳以上3歳未満児の保育に関わるねらい及び内容」の(2)「ねらい及び内容」における、エ「言葉」の(イ)「内容」として正しいものを○、誤ったものを×とした場合の正しい組み合わせを一つ選びなさい。

- A 保育士等の一方的な関わりや話しかけにより、自ら文字を使おうとする。
- B 親しみをもって日常の挨拶に応じる。
- C 絵本や紙芝居を楽しみ、簡単な言葉を繰り返したり、模倣をしたりして遊ぶ。
- D 保育士等と平行遊びをする中で、文字のやり取りを楽しむ。

(組み合わせ)

- | | A | B | C | D |
|---|---|---|---|---|
| 1 | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 2 | ○ | ○ | × | × |
| 3 | × | ○ | ○ | × |
| 4 | × | × | ○ | ○ |
| 5 | × | × | × | × |

問 15 次の文は、異年齢保育を取り入れている保育所に勤める保育士のRさんが作成した異年齢クラスの指導案である。「保育所保育指針」第1章「総則」の3「保育の計画及び評価」に照らして、不適切な記述を一つ選びなさい。

- 1 指導計画の作成にあたっては、子どもの発達差が大きいため、一人一人の子どもの生活や経験、発達過程などを把握し、適切な環境の構成や援助を工夫する。
- 2 指導計画の作成にあたっては、一人一人の子どもの主体性が重視される保育を基盤にしながら、他の友達と様々な関わりを持ち、一緒に活動する楽しさを味わい、協同して遊びが展開される活動を工夫する。
- 3 長時間にわたる保育については、子どもの生活の連続性を考慮し、担当する複数の保育士等が一日の保育の流れを把握した上で、子どもにふさわしい対応ができるよう、保育のねらいや内容等について理解を共有して、指導案の作成に取り組む。
- 4 保育の過程の記録を踏まえ、指導計画に基づく保育の内容の見直しを行い、改善を図る。
- 5 指導計画の作成にあたっては、午睡は、体力を回復したり、脳を休ませたりする上で重要であるために、子どもが一律に午睡の時間を確保できるように配慮する。

問 16 次の保育所での【事例】を読んで、【設問】に答えなさい。

【事例】

6月の雨上がり、4歳児のS君が、園庭でカタツムリを見つけると「カタツムリがいた」と保育士に教えに来る。クラスの子どもたちと見に行くと、小さなカタツムリが木の根元の方にいる。見せて見せてと他の子どもたちがやって来る。

「先生見て！ここにも！」という子どもや、殻をそっとさわり「固い！」という子ども、「見て、動いたよ」という子どもなど、様々な声が聞かれる。そのような中、S君が「飼いたい」と言うと、「飼いたい」とS君に賛同する子ども、「死んじゃうんだよ」「かわいそうだよ」という子どもの声が聞かれる。

【設問】

「保育所保育指針」第1章「総則」及び第2章「保育の内容」に照らして、保育士が行う保育の内容として、不適切な記述を一つ選びなさい。

- 1 子どもたちだけでは飼育できないため、「みんなにはまだ飼えないから、飼うのはやめておきましょう」と言葉がけをする。
- 2 子どもと共に、子どもの発見した喜びに共感する。
- 3 カタツムリの飼育環境や餌をきちんと整えてあげることが必要なこと、それらが整えられないとカタツムリが死んでしまうことを子どもたちに伝えていく。
- 4 事前にカタツムリがいる場所を調べておいたり、子どもが観察等しやすいように、虫眼鏡や図鑑を準備しておく。
- 5 帰りの会などで、カタツムリの発見について話し、皆で育てていくかについて子どもたちと話し合う。

問 17 次の文のうち、「保育所保育指針」第 1 章「総則」の 3 (4)「保育内容等の評価」の一部として、(a) ~ (d) の下線部分が正しいものを○、誤ったものを×とした場合の正しい組み合わせを一つ選びなさい。

- 保育士等は、保育の計画や (a) 保育の記録を通して、自らの保育実践を振り返り、自己評価することを通して、その専門性の向上や保育実践の改善に努めなければならない。
- 保育士等による自己評価に当たっては、子どもの活動内容やその結果だけでなく、子どもの心の育ちや (b) 知識、取り組む (c) 過程などにも十分配慮するよう留意すること。
- 保育士等は、自己評価における自らの保育実践の振り返りや職員相互の話し合い等を通じて、専門性の向上及び保育の質の向上のための (d) 方法を明確にするとともに、保育所全体の保育の内容に関する認識を深めること。

(組み合わせ)

| | a | b | c | d |
|---|---|---|---|---|
| 1 | ○ | ○ | × | × |
| 2 | ○ | × | ○ | × |
| 3 | ○ | × | × | ○ |
| 4 | × | ○ | ○ | × |
| 5 | × | × | × | ○ |

問 18 次の囲みの中の文は、「保育所保育指針」第 1 章「総則」の 1（1）「保育所の役割」の一部である。下線部の「倫理観に裏付けられた専門的知識、技術及び判断」の内容として、次の 1～5 の記述のうち、不適切な記述を一つ選びなさい。

保育所における保育士は、児童福祉法第 18 条の 4 の規定を踏まえ、保育所の役割及び機能が適切に発揮されるように、倫理観に裏付けられた専門的知識、技術及び判断をもって、子どもを保育するとともに、子どもの保護者に対する保育に関する指導を行うものであり、その職責を遂行するための専門性の向上に絶えず努めなければならない。

- 1 これからの社会に求められる資質を踏まえながら、乳幼児期の子どもの発達に関する専門的知識を基に子どもの育ちを見通し、一人一人の子どもの発達を援助する知識及び技術
- 2 子どもの発達過程や意欲を踏まえ、子ども自らが生活していく力を細やかに助ける生活援助の知識及び技術
- 3 保育所内外の空間や様々な設備、遊具、素材等の物的環境、自然環境や人的環境を生かし、保育の環境を構成していく知識及び技術
- 4 子どもの経験や興味や関心を問わず、まとまりのある集団として必要な規則や、ルールに沿った行動がとれるようにするための知識及び技術
- 5 子ども同士の関わりや子どもと保護者の関わりなどを見守り、その気持ちに寄り添いながら適宜必要な援助をしていく関係構築の知識及び技術

問 19 次の文は、母子生活支援施設での事前実習指導で実習担当者が実習生に説明した内容である。適切なものを○、不適切なものを×とした場合の正しい組み合わせを一つ選びなさい。

- A 実習中に職員から説明を受けた母子のケース・プライバシーについては、実習終了後も口外しないでください。また、実習日誌等にも入所者の実名を記載せずにイニシャル等で記載をします。(守秘義務の厳守)
- B 利用者は個人的な関係を持ちたがっています。よろしければ実習生の住所、電話番号等を教えて、実習後も個人的な関係を続けてください。
- C 入所者に入所前の家庭状況や出身地、入所理由などについて積極的に聞いて下さい。
- D 入所者から知りえたプライバシーを他の入所者に話さないで下さい。

(組み合わせ)

| | A | B | C | D |
|---|---|---|---|---|
| 1 | ○ | ○ | × | × |
| 2 | ○ | × | ○ | × |
| 3 | ○ | × | × | ○ |
| 4 | × | ○ | × | ○ |
| 5 | × | × | ○ | ○ |

問 20 次の【事例】を読んで、【設問】に答えなさい。

【事例】

福祉型児童発達支援センターで実習中のOさん（学生、女性）は、実習2日目に通所しているQ君（5歳 男児 自閉症）と手をつなごうとしたところ、腕を噛まれました。

【設問】

次の文のうち、保育士をめざすOさんがとるべき対応として、不適切な記述の組み合わせを一つ選びなさい。

- A Q君が噛んだ前後の様子を考えて、なぜ噛んだのか、次に同じような場面になったらどうするかを考察する。
- B これ以上Q君と関わらないようにする。
- C 担当職員に出来事を話し、指示を仰ぐ。
- D 職員のQ君への関わりをよく観察する。
- E Q君の保護者に謝罪してほしいと職員に訴える。

（組み合わせ）

- 1 A B
- 2 A C
- 3 B E
- 4 C D
- 5 C E